

錦江町の 空き家状況

全国の空き家率は増加の一途で、平成25年には空き家数が820万戸、空き家率が13・5%（平成25年住宅・土地統計調査）となりました。

5年前に比べると、空き家数は63万戸も増えて、空き家率は0・4%上昇しています。錦江町の空き家状況はというと、平成27年度に実施した空き家実態調査により、900件を超える空き家が確認されています。

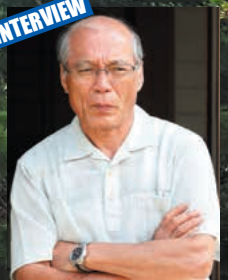
また、当時の調査結果によると、現状のまま入居可能な空き家は379件、補修すれば入居可能な空き家が220件と、約600件の空き家が

活用できることも分かっています。

しかし、空き家管理者へのアンケート調査結果では、「空き家バンクへ登録したい」と答えた方が83名いたのに対し、実際に登録された方は、わずか5名という結果でした。

登録が進まない背景には、荷物が置いてあることや、貸すための改修費用がかかることなどの問題があるのかもしれない。

INTERVIEW



「自分たちにできることは」

橋ノ口自治会長 橋口 達郎さん

現在、橋ノ口自治会には10件近い空き家があります。長期入院や介護施設への入所などで空き家になっているケースが多く、管理者が近くに住んでいない家は、換気や草刈りなどの管理が難しい状況です。

しかし、人が住まなくなっただ家は傷みが早く、さらに空き家として放置される可能性が高くなると思い、空き家のなかでも入居できそうな6件を中心に、管理している方と連絡を取り合いながら換気や草刈りを手伝う活動を始めています。

借家を探している人は多いと思いますよ。

月に何件か問合せがあるので、実際に空き家を見せて回ることもあります。すぐに入居できる状況でないと契約は厳しいですね。

特に、風呂やトイレなどが使えない場合、修理してまで貸す人は少ないので。

いま自分たちにできることは、空き家の現状を維持しながら、借り手（買い手）と結び付けるための声掛けを続けることだと思います。